

事業所名 社会福祉法人のゆり会 のぞみ発達支援室きさらづ 支援プログラム 作成日 2026年 4月 6日

法人理念	子どもから成人まで、すべての人の健やかな成長を願い、その時代と個々のニーズにかなった福祉サービスを提供する。保護者への支援を通して、現在の課題だけでなく将来を見据えた展望を共有し、協働しながら支援を進める。地域社会に開かれた施設として、地域とのつながりを大切に、誰もが安心して利用できる環境づくりを目指す。					
支援方針	のぞみ牧場学園を卒業した児童や就学児に対し、これまでの支援を継続し、発達段階に応じた専門的な療育指導を行う。個別指導およびグループ指導の場を設け、心理支援、作業療法、音楽療法、ソーシャルスキルトレーニング（SST）、生活スキルトレーニング、乗馬など、多様なプログラムを通して、子どもの発達課題に応じた支援を実施する。就学後に直面する学習・生活・対人関係などの課題について、保護者や関係機関と協働しながら、解決に向けた支援を進める。					
営業時間	8時	30分から	17時	30分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	子どもの健康状態を日常的に確認し、必要に応じて適切な対応を行う。保護者または関係支援者と心身の状況を共有し、利用中に体調の変化が見られた場合には、医療機関の受診や保護者への速やかな報告など、状況に応じた対応を行う。生活スキルトレーニングを通して、身支度・清潔保持・食事・排泄など、日常生活に必要な基本的動作や生活習慣の獲得を支援し、自立に向けた力を育てる。子どもが安心して活動に参加できるよう、健康面および生活面でのリスクを把握し、予防的な配慮を行う。				
	運動・感覚	粗大運動および微細運動の発達状況を一人ひとりの子どもについて評価し、日常生活に必要な動作の基盤となる姿勢保持、上肢・下肢の運動・動作の改善および習得、筋力の維持・強化に向けた具体的な支援を行う。感覚統合の視点を取り入れ、子どもの感覚ニーズに応じて必要な感覚刺激を調整し、過敏・鈍麻・探索行動などの特性に配慮した環境づくりを行う。乗馬セラピーを通して、腹筋・背筋を中心とした筋力の強化、体幹の安定、姿勢の改善を図り、バランス能力や身体感覚の調整を促す。				
	認知・行動	心理士等の専門職が一人ひとりの子どもの認知発達および行動特性を評価し、発達段階に応じた適切な指導を行う。感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難さなどから生じる不適切な行動に対しては、事前の環境調整や予防的な支援を重視し、子どもが適切な行動を選択できるよう段階的な支援を行う。行動の背景にある要因を丁寧に捉え、安心して活動に参加できる環境づくりを通して、自己調整力や適応行動の向上を図る。				
	言語コミュニケーション	発達段階に応じて適切なコミュニケーション手段（マカトンサイン、絵カード、視覚支援ツール等）を選定し、子どもが理解しやすい環境設定と関わり方の調整を行う。書字・読字能力の向上に向けて、基礎的な認知スキルや操作能力の育成を含めた適切な支援を行う。学校の教科学習に関するフォローを行い、学習場面で必要となる支援方法を保護者および学校と共有し、家庭・学校・施設が一貫した支援を行えるよう連携を図る。				
	人間関係社会性	SST（ソーシャルスキルトレーニング）を実施し、対人関係や社会生活を営むために必要な技能の習得を促す。子どもの発達段階や特性に応じて環境調整や関わり方を検討し、自発的に集団へ参加し、手順やルールを理解しながら遊びや集団活動に取り組みよう支援する。音楽療法などの活動を通して情緒の安定を図り、安心できる関係性の中で、適切な周囲との関わり方を身につけられるよう支援する。				
家族支援	フィードバックの時間を通して、子どもの発達状況や日々の様子を保護者と共有し、相互に理解を深めながら支援を進める。必要に応じて個別面談を実施し、保護者の相談に応じるとともに、家庭での関わり方や今後の見通しに関する助言を行う。保護者との協働を大切に、家庭と施設が一貫した支援を行えるよう連携を図る。	移行支援	学校や他事業所、相談支援事業所などの関係機関と連携を図り、子どもの支援が途切れることなく継続できるよう情報共有を行う。必要に応じて担当者会議を開催または参加し、子どもの特性や支援内容、今後の見通しについて関係者間で共通理解を深める。子どもが新しい環境へ安心して移行できるよう、関係機関との協働を通して支援体制を整える。			
地域支援・地域連携	地域中核拠点登録事業所として、地域の障害児支援事業所を対象とした研修会を実施し、専門的知見の共有と支援力の向上に寄与する。保育所等訪問支援を実施し、学校における支援方法の助言や環境調整の提案を行い、子どもが安心して過ごせる場づくりを支援する。地域行事への参加や、地域に開かれたイベントの開催を通して、地域住民との交流を深め、施設の役割や活動を広く発信する。	職員の質の向上	職員が専門性を高められるよう、研修への参加や資格取得を積極的に推奨し、学び続ける体制を整える。年間計画として研修機会を設定し、内部研修・外部研修・多職種連携研修など、職員が継続的に知識と技術を向上できる場を確保する。行政機関や子どもに関わる関係機関との連携会議に参加し、最新の情報や支援方法を共有するとともに、地域の支援体制の向上に寄与する。職員間での情報共有や振り返りを重視し、組織全体として支援の質を高める文化を育てる。			
主な行事等	外出活動、電車乗車体験、買い物活動等 地域行事：羊の毛刈りパーティー（地域イベント）、ハワイアンナイト（地域イベント）					